

最近の主な出来事をご紹介します

○「被災建築物応急危険度判定士」の養成講習会を開催しました（平成30年2月22日）

被災建築物応急危険度判定は、地震により被災した建物が、その後に発生する余震等で再び倒壊する恐れがあるかどうかを応急的に判断するためのもので、県知事が認定した応急危険度判定士が調査します。

判定士の養成講習は毎年開催しており、今回の講習会には上伊那管内の建築士など27人が受講し、建築物の倒壊の危険度等を判断する手法を学びました。



【応急危険度判定について説明を聞く受講者】

○知事感謝状を贈呈しました（平成30年3月8日）

知事感謝状は、様々な分野において功績のあった個人や団体に贈られるものです。本年度、伊那建設事務所管内では、次の3団体に知事感謝状が贈呈されました。

《道路愛護活動》

神子柴花の会（南箕輪村）

神子柴地区の皆さんにより、平成23年に設立されました。南箕輪村神子柴交差点のロータリー内の花壇に様々な花を植え、通行する方々の目を楽しませています。

《河川愛護活動》

大沢川河川愛護会（伊那市）

下殿島区の皆さんにより、昭和60年に設立されました。32年間の長きに亘り大沢川の草刈りやゴミ拾いなどの環境美化活動に熱心に取り組まれています。



【中央：神子柴花の会 丸山代表】

【右：大沢川河川愛護会 小笠原会長】

《土砂災害防止活動》

諏訪形区を災害から守る委員会（伊那市）

災害による被害を受けたことを契機に平成19年に設立されました。災害復旧現場への植樹、危険個所の把握、フェイスブックによる情報発信を行うなど、地域住民の防災意識向上や地域の活性化にも寄与されています。



【左：諏訪形区を災害から守る委員会 酒井副委員長】